

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成21年11月5日(2009.11.5)

【公開番号】特開2008-107453(P2008-107453A)

【公開日】平成20年5月8日(2008.5.8)

【年通号数】公開・登録公報2008-018

【出願番号】特願2006-288669(P2006-288669)

【国際特許分類】

G 02 F 1/1337 (2006.01)

G 02 F 1/1333 (2006.01)

【F I】

G 02 F 1/1337

G 02 F 1/1333 5 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成21年9月14日(2009.9.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

偏光フィルタにより得られた偏光を被照射体に照射する偏光照射装置であって、前記偏光フィルタが、表面に誘電体層が設けられ、且つ該誘電体層が設けられた表面に対し、斜めに加工された端面を備えた複数の平板を、該誘電体層が連続層を形成し、且つ該連続層の断面が一定の角度で折れ曲がったジグザク形状となるように該端面を密接させた状態で拘持してなる偏光フィルタであり、

被照射体を静電チャックで保持しながら偏光を照射することを特徴とする、偏光照射装置。

【請求項2】

前記平板が、表面に誘電体層を有する平板を、端面が斜めになるように切り出した平板である請求項1記載の偏光照射装置。

【請求項3】

前記被照射体が静電チャックで連続的に搬送される、請求項1又は2に記載の偏光照射装置。

【請求項4】

請求項1～3のいずれかに記載の偏光照射装置を用いた光配向膜用配向装置。

【請求項5】

請求項4記載の光配向膜用配向装置により得られた光配向膜。

【請求項6】

重合性液晶組成物を、配向機能を有する基板上に塗布し配向させた状態で重合させて得られる光学異方体であって、前記配向機能を有する基板が、請求項5に記載の光配向膜を有する基板であることを特徴とする光学異方体。

【請求項7】

請求項5に記載の光配向膜を液晶配向膜として使用することを特徴とする液晶パネル。

【請求項8】

請求項6に記載の光学異方体を位相差膜として使用することを特徴とする液晶パネル。